

# 進藤 冬華 作品資料



「あなたは誰 02」、2014-2015年

## 作品について

私の制作は、自分が生まれ、暮らしている場所がどういう背景を持っているのかという疑問から始まっている。そして自分が生まれる以前の過去とどう向き合うことができるのかに興味がある。例えば、北海道の郷土史や、日本の近代以降の歴史、郷土博物館にある様々なコレクション、昔からある手仕事などを調べて作品につなげていく。作品は現在を生きている自分の視点と調べた過去が混ざり合っている。

調べることは、読むことや旅をすること、人と交流することなどが含まれる。それらは私に体験として強烈な印象をもたらし、感情を動かす。こうした経験や感情が作品のもとにある。

こうした体験や感情を観客にどう伝えるのか、制作を通じて考えたい。

# 「岩の島」

2016年、「対馬アートファンタジア」(グループ展)  
会場：半井桃水館、対馬

初めて対馬を訪れたとき、大きな岩が丸ごと島になったような地形や豊かな自然環境の中に神話や信仰、人々の先祖が存在し、今生きている人々の生活と隣り合わせであることが印象的だった。同時に、私が育っていった環境がいかにこうした事と関係なく営まれているのかを思い知った。目には見えない様々な存在とともに生活することは、人々の生活に影響を与えることが予想できた。こうした見えないものを見えるようにするため、心霊写真のような写真作品を制作した。対馬や北海道で撮影したイメージをデジタルでコラージュし鶏卵紙にプリント。リサーチなどで見かける古い鶏卵写真に写る人々や風景はすでに現存しない昔の姿を留め、ときに少し怖い印象をもつ。その感覚が、対馬で感じた見えない存在に対する感覚と繋がりこの技法を用いた。

# 展示風景



「岩の人」鶏卵写真、18cm × 15cm



衣装と紙の岩(右写真の人物が着用している)



# 「鮭のウロコを取りながら」

2015年、個展

北海道立北方民族博物館、網走市

会場である、北海道北方民族博物館のコレクションや北海道及び北方圏で見られる民族衣装をヒントにした作品をなど展示。博物館の常設展との対比を試みた。

# 会場風景



# 「あなたは誰」 2014-2015年



写真、手袋、ビニール製パーカー、股引、木製雪眼鏡、足袋



コンビニの  
あんかけ焼きそばの容器



自作の木製スプーン  
コンビニでも売った箸

コンビニの焼きそばの容器、  
自作の木製スプーン、  
コンビニでも売った箸



陶器用ペンで  
絵付けしたカップ

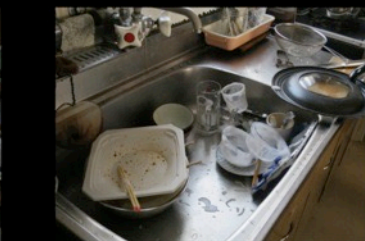


自作  
茶漬きの椀と湯のみ

自作の土器の茶碗、  
マジックで絵付けしたカップ



# 映像スチール (1分13秒)



# 「穴」

2016年、会場Ongoing、個展

アイヌの昔話をもとにしたインスタレーション。  
イベントとして展示の中でストーリーを話す会を行った。  
物語があまりにも衝撃的な内容で、面白いと感じ作品にしたいと思ったが、同時に文化の盗用についても考えさせられた。

物語：心優しい男と意地悪な男がいて、優しい男が海でお尻を出して水を吸いあげると海産物がたくさんとれてその後幸せに暮らしたが、意地悪な男がお尻を出して吸いあげると、誤って虫をたくさん採ってしまい、最後に虫に襲われて死んでしまう。







# 「マントルまで」

2015年、黄金町バザール2015、  
初音ウイング、横浜市

北海道にある日高山脈は、複雑な地質のため様々な質の岩や石を生み出し、古代の化石、石器から現代の鑑賞石、庭石に至るまで長く人々を魅了してきた。こうした石と人との関わりを追いかけ作品にした。

会場風景



# 会場風景



「岩を持ち上げる」  
インクジェットプリント、A1サイズ



# 「もんよう どうしよう」

2014年、個展

Art Center Ongoing、東京

青森、北海道、サハリンを一つの繋がり、関係し合う地域と捉え、この地域内を旅行する中で、それぞれの地域で見られる伝統手芸の模様がグラデーションのように関連していることに着目し、それらを用いて新しい模様を作ろうとする試み。



展示風景





# 「関連部分を集める」

2013年、2人展  
沙流川アート館、北海道 平取町

# 展示風景





切り取った写真



「スカート」  
着物の端切れ、羽、  
ビニールひも、糸、魚皮



「カニサボテン」  
着物の端切れ、糸、綿



「イクラごはん」

2012年、24.7×41cm、鞣した鮭皮、糸



「積み重なる感じと穴から出るモワモワ」

2011年、40×28cm、鞣した鮭皮、糸

# Fuyuka Shindo Portfolio

Shindo's art practice have been focused on 'local' history, culture, ethnology and so on, especially, often relating Hokkaido where she was born and based. Research is important process of her practice, and it is conducted with these local matters and compared mainstream history, industry, politics and other social situations, then be combined these things with the situation in present. Although these 'local' matters are often invisible, when they are payed attention, they show different historic dimensions and various aspects. Her point of view is centered 'her' experiences and emotions towards the local matters rather than general understanding or academic explanation of history.

In Kala Lumpur, this opportunity will encourage shindo's new project dealing with World War II . This is bigger and mainstream history than that she has looked at ever. This project will become part of series of her works about World War II in Asia.

Shindo obtained Master degree of Fine Art at the University of Ulster in Belfast, Northern Ireland, 2006. She participates various art programs both in Japan and abroad, including recent exhibitions; 'Child of Setters' (Moerenuma Park, Sapporo, 2019), 'Parallex Trading' (das weisse haus, Vienna, 2019)

"While remove fish scales from salmon" (Hokkaido Museum of Northern People, Abashiri, 2015) and the Sapporo International Art Festival 2014 (Chi-Ka-Ho, Sapporo, 2014), Asian Cultural Council (ACC) fellowship 2016. <https://www.shindofuyuka.com/>

# Island of Stones

2016, Nakarai Tosui Center, Tsushima, Japan

It is about the invisible existence like ghosts and supernatural beings. These are series of fake ghost photos with classic print.



Installation view in the gallery. photo by Tadasu Yamamoto



'Containers' albumen print, 18cm × 15cm



'Stone man' albumen print, 18cm × 15cm

## While remove fish scales from salmon

2015, Hokkaido Museum of Northern People, Abashiri, Japan

This exhibition looks like fictional ethnology collection. The venue is an ethnology museum which presents specially peoples who inhabit in northern regions. Some parts are influenced by directory this collection.



Japanese socks, Wooden snow glasses



Installation view in the museum

'Who is it?' 2014, 40 × 30cm, inkjet print



Display in the showcase.

## Towards to the Mantle

2015, Koganecho Bazaar 2015, Hastune Wing, Yokohama, Japan

This installation is about stones culture around Hidaka Mountains in Hokkaido. This place is geographically rich variety of stones, and historically people have treasured since stone age, like famous for fossils, stone tools and garden stones etc.



Installation view in the gallery



'Lift up stone' 2015, 594 x 420cm, inkjet print